

インターバースの社会実装に向けたELSI論点の整理

ガイドラインを発行

▶ インターバースの社会実装に向けた
ELSIガイドラインを作成・公開中！

■ https://unit.aist.go.jp/rihsa/sip3/booklet_elsi.html



ガイドラインはこちらから！



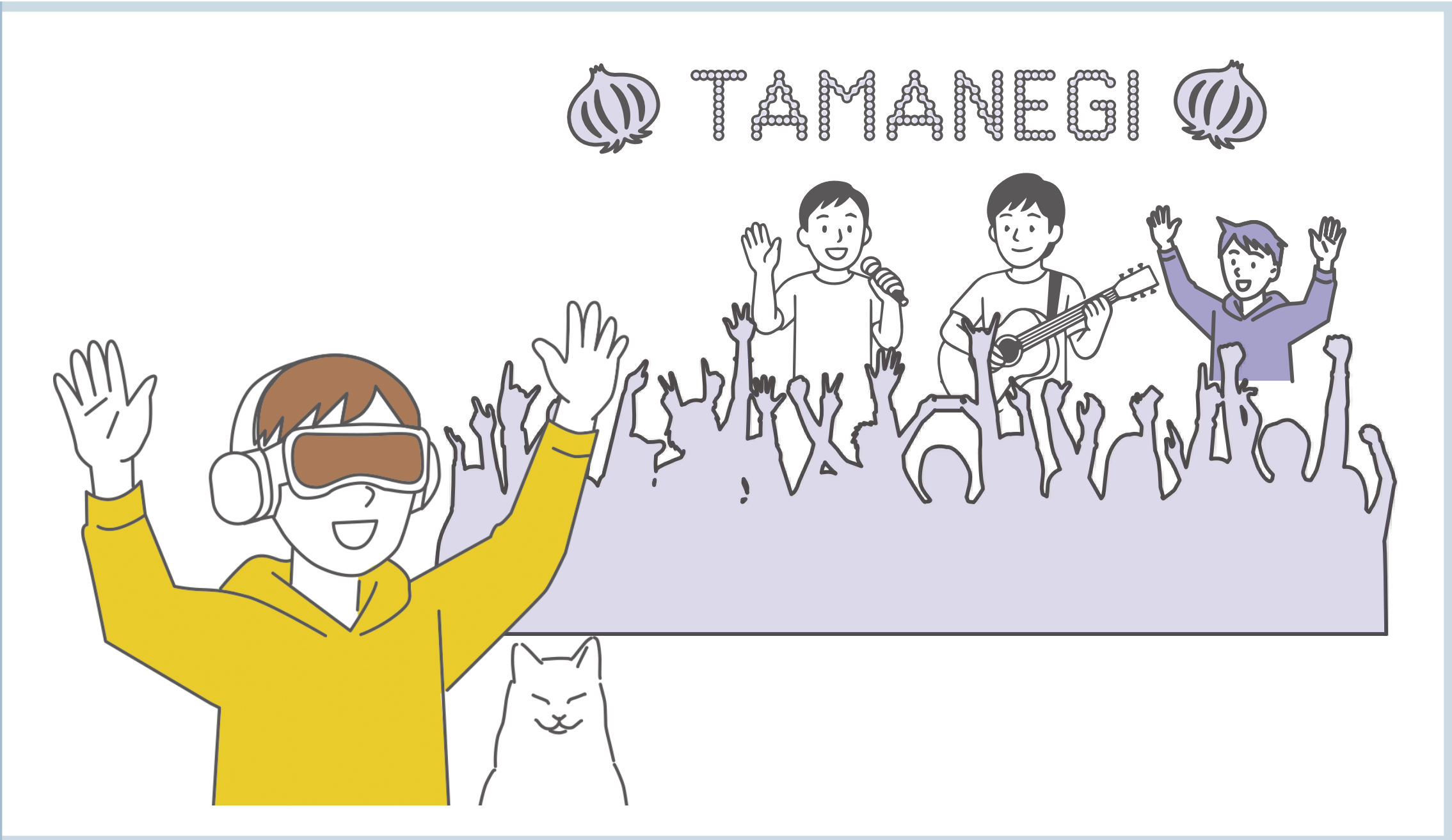
Point 1 “ショートストーリー”を用いて理解しやすいガイドラインに！

人気J-POPユニット「たまねぎ」。二人は最近新たなライブの形式として「インターバースライブ」に挑戦し始めた。インターバースライブの特徴は、バーチャル空間を介して遠隔地からも没入感のある体験を提供できること、そして「自分ではなく、アバターの姿で参加できる」こと。

多くのファンにこの「アバター活用」が好評だった。恥ずかしさを感じることなく声援を送り、時に音楽に合わせて踊ることだってできてしまう新しいエンターテインメントとして受容されたのだ。

「たまねぎ」の二人にとっても、ファンの没入度が上がることでライブがさらに盛り上がるように感じられていた。「たまねぎ」の二人も、多くのファンも、インターバースでのライブに満足していた。

しかしその陰で、ライブの回数を重ねるにつれて、さまざまな事情を抱えた一人ひとりのファンの中には、小さなもやもやが生まれつつあった。



Point 2 論点を自己・他者・社会・世界の四分類で提示

カテゴリー	テーマ	論点
自己	健康	本書では合計36個の論点を記載
	自律性	
他者	信頼	
	安全	
社会	データ/個人情報保護	
	本人確認	
	経済的権利	
	包摂と公正	
	文脈・文化干涉	
世界	地球環境	
	軍事転用	
	他技術との関連：生成AIなど	

ELSI論点の整理

インターバースにおける「自己」の問題

インターバースの利用が個人に与える影響を扱うカテゴリーです。メタバースとユニバースの接続によって生まれる「私」の変容が引き起こす問題が中心的に問われます。

インターバースにおける「他者」の問題

インターバースの利用が他者との関係性に与える影響を扱うカテゴリーです。メタバースとユニバースの接続によって生まれる「私」と「あなた」の関係性の変容が引き起こす問題が中心的に問われます。

インターバースにおける「社会」の問題

インターバースの利用が多数で多様な構成員からなる社会に与える影響を扱うカテゴリーです。メタバースとユニバースの接続によって生じる、ある集団の内部の関係性、あるいは集団同士の関係性にまつわる問題が中心的に問われます。

インターバースが存在する「世界」の問題

インターバースの存在が人と人の「関係性の変容」を超越して引き起こす、時間的・空間的スケールの大きい問題を扱うカテゴリーです。インターバースの広範な利用や関連技術の発展によって、将来的に生じうる問題が中心的に問われます。

今後の展開

- ガイドラインを用いたワークショップや勉強会を連携事業者の皆さんとともに実施していきます。
- 新たな論点やその枠組みを考案し、より実践的なガイドラインを目指してアップデートしていきます。

本研究は、内閣府総合科学技術・イノベーション会議の「SIP第3期/バーチャルエコノミー拡大に向けた基盤技術・ルールの整備」(JPJ012495)によって実施されました。また、「インターバースのELSIに関するアドバイザリー委員会」の皆様から助言をいただいております。

